

ていばーく所蔵資料紹介

簡易保険扇面原画
横山大観 「富士雪景」



簡易保険扇面原画とは、簡易保険の事業功勞者に贈られた扇子の原画で、石井柏亭、土田麦僊、川端龍子、安田靉彦、奥村土牛などいずれも近代日本美術史に残る著名な画家によって描かれています。

製作が開始された時期は定かではありませんが大正7年からの扇子が当館には所蔵されているため、大正5年の簡易保険創業後まもなくであったろうと思われます。現存している原画は大正13年の平福百穂「竹林の隠者」からで、今回掲載した横山大観の「富士雪景」は昭和10年の製作です。

この扇子の製作は昭和39年を最後に中止されましたが、平成3年に簡易保険創業75周年を記念して再開されました。